

# 記者配布資料

平成24年1月13日

部 課 名	課長名	班長名	担当者・氏名	連絡先・県庁内線
健康福祉部 健康増進課	三輪 茂之	母7保健・感染症班 弘田 隆彦	主任技師 長井 詩乃	083-933-2956 内線2956
発表内容の 関係地域	<b>全県</b> 、岩国、柳井、周南、 <b>山口</b> 、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏			

## 障害者支援施設における感染性胃腸炎の発生について

山口市内の障害者支援施設において、下記のとおり感染性胃腸炎の集団発生がありましたので、お知らせします。

### 記

#### 1 概要

- (1) 発症月日 1月10日(火)
- (2) 有症者数 1月13日現在 7名 (入所者6名、職員1名)  
(これまで25名が発症し、うち18名は既に回復)
- (3) 症 状 嘔吐、下痢、発熱(重症者なし)

#### 2 対応

山口健康福祉センターが当該施設に対し、消毒方法等の衛生指導を実施

#### 3 その他

感染性胃腸炎は、例年、冬季(11月から3月)に流行しますので注意が必要です。

### 【感染性胃腸炎の予防対策】

- ①石けんでよく手を洗いましょう。
- ②感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにしましょう。  
使い捨ての手袋やティッシュペーパー(キッチンペーパー)などを使って処分しましょう。  
嘔吐物のあった床などは、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度0.02%：市販の塩素系漂白剤は250倍に希釈)で浸すように拭き、10分後に水拭きしてください。
- ③食品の取扱に注意しましょう。  
食品は、中心部までよく加熱(85℃、1分間以上)しましょう。
- ④調理器具はよく洗って、殺菌しましょう。  
熱湯(85℃、1分間以上)や塩素濃度0.02%の次亜塩素酸ナトリウム(市販の塩素系漂白剤を薄めたものなど)で殺菌しましょう。

#### (参考)

感染性胃腸炎とは

- (1) 病原体：ウイルス(ノロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルス等)  
細菌(カンピロバクター、病原性大腸菌、サルモネラなど)
- (2) 感染経路：食品や水を介しての経口感染や吐物、便を介しての接触感染(二次感染)
- (3) 臨床症状：発熱、下痢、嘔吐、腹痛など
- (4) 山口県の発生状況 山口県感染症情報センターホームページ

[http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/2012w\\_1.php?w=1](http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/2012w_1.php?w=1)